

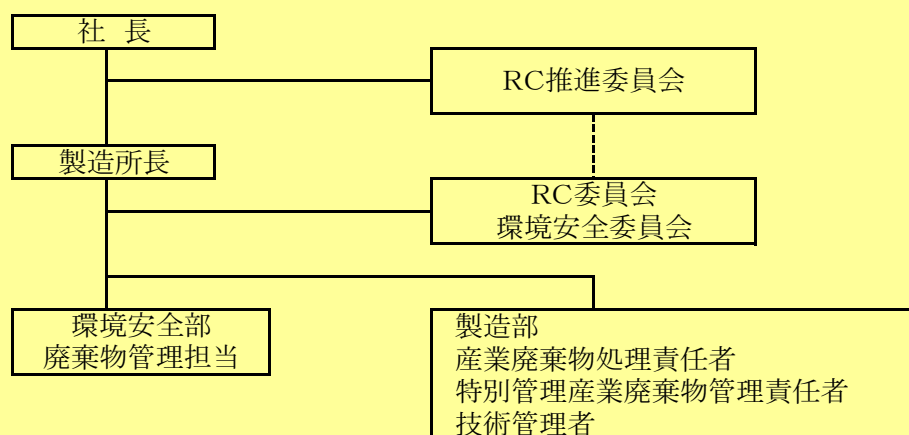
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 30 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所	姫路市網干区興浜字西沖992-1
氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	株式会社 日本触媒 姫路製造所 執行役員所長 岡崎 和人
電話番号	079-273-1139
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 日本触媒 姫路製造所
事 業 場 の 所 在 地	姫路市網干区興浜字西沖992-1
計 画 期 間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	[1632]化学工業 有機化学工業製品、脂肪族系中間物製造業
② 事 業 の 規 模	250億円
③ 従 業 員 数	1, 112人(姫路製造所)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機:焼却灰)	汚泥(有機:余剰汚泥)	汚泥(無機)
	排 出 量	32,000 t	17,340 t	264 t
	1) 汚泥(無機:焼却灰) ・汚泥(32,000t)の脱水処理後、外部委託処理(295t)は全量再生利用される。 2) 汚泥(有機:余剰汚泥) ・汚泥(17,340t)の脱水・乾燥処理後、外部委託処理(177t)は全量再生利用される。 3) 汚泥(無機) ・外部委託処理(264t)のうち、74%(196t)が再生利用される。			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機:焼却灰)	汚泥(有機:余剰汚泥)	汚泥(無機)
	排 出 量	32,000 t	24,500 t	350 t
	(今後実施する予定の取組)			
	1) 汚泥(無機:焼却灰) ・設備改良等による発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 2) 汚泥(有機:余剰汚泥) ・設備改良等による発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 3) 汚泥(無機) ・設備改良等による発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。			

(第2面)-2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥(有機)	廃油	廃プラスチック類
	排 出 量	285 t	21,140 t	1,446 t
	(これまでに実施した取組)			
	1)汚泥(有機) ・外部委託処理(285t)のうち、45%(129t)が再生利用される。 2)廃油 ・発生する廃油のうち、97%(20,528t)は所内再生利用される。(燃料化) ・外部委託処理(612t)のうち、62%(381t)が再生利用される。 3)廃プラスチック類 ・外部委託処理(1,446t)のうち、19%(279t)が再生利用される。			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥(有機)	廃油	廃プラスチック類
	排 出 量	500 t	25,000 t	3,000 t
	(今後実施する予定の取組)			
	1)汚泥(有機) ・設備改良等による発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 2)廃油 ・発生量抑制及び所内再生利用の検討。(燃料化) ・外部委託処理での再生利用化の検討。 3)廃プラスチック類 ・設備改良等による発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 ・マテリアルリサイクル化に向けた処理先の検討。			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず
	排 出 量	93 t	45 t	14 t
	(これまでに実施した取組)			
	1)紙くず ・外部委託処理(93t)は全量焼却処理される。 2)木くず ・外部委託処理(45t)は全量再生利用される。 ・廃パレット(40t), 廃木材(5t) 3)金属くず ・外部委託処理(14t)のうち、79%(11t)が再生利用される。			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず
	排 出 量	100 t	150 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)			
	1)紙くず ・外部委託処理での再生利用化の検討。 2)木くず ・発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 ・バイオ燃料化に向けた処理先の検討。 2)木くず, 金属くず ・発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず等	廃酸	廃アルカリ
	排 出 量	16 t	2 t	1 t
	(これまでに実施した取組)			
	1) ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ・外部委託処理(16t)のうち、6%(1t)は再生利用される。(廃蛍光灯) ・外部委託処理(3t)は、無害化処理後(焼却処理)、全量再生利用される。 2) 廃酸 ・外部委託処理(2t)は全量無害化処理される 3) 廃アルカリ ・外部委託処理(1t)は全量無害化処理される			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず等	廃酸	廃アルカリ
	排 出 量	30 t	5 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)			
	1) ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ・外部委託処理での再生利用化の検討。 2) 廃酸 ・発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。 3) 廃アルカリ ・発生量抑制の検討。 ・外部委託処理での再生利用化の検討。			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 所内共用廃棄物置場 ・全職場対象に持ち回りで立会指導を実施し分別の徹底を行う。 ・廃蛍光灯、廃乾電池の再生利用の実施。			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 所内共用廃棄物置場 ・プラスチックパレットのリサイクル化の検討。 ・ガラスビンリサイクル化の検討。 ・ポリエチレン素材、ポリプロピレン素材のマテリアルリサイクル化の検討。 ・木製パレットのバイオ燃料化処理の検討。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	20,528 t	
	(これまでに実施した取組)		
	1) 廃油 ・所内で発生する廃油のうち、97%(20,528t)は所内再生利用される。(燃料化)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	25,000 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	1) 廃油 ・発生する廃油の所内再生利用化を検討。(燃料化) ・外部委託処理量の抑制化。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機:焼却灰)	汚泥(有機:余剰汚泥)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	31,705(脱水後 295t) t	17,163(脱水・乾燥後 177t) t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機:焼却灰)	汚泥(有機:余剰汚泥)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	31,600(脱水後 400t) t	28,420(脱水・乾燥後 290t) t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	1) 汚泥(無機:焼却灰) ・最適な運転管理の実施 2) 汚泥(有機:余剰汚泥) ・最適な運転管理の実施		

(第4面)-1

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
	・実績なし			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			
	・計画なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機:焼却灰)		汚泥(有機:余剰汚泥)
	全処理委託量	295	t	177 t
	優良認定処理業者への処理委託量	295	t	177 t
	再生利用業者への処理委託量	295	t	177 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
	・委託処理物の再生利用化の検討			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(7 年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥(無機)		汚泥(有機)		廃油		廃プラスチック類	
	全処理委託量	273	t	285	t	612	t	1,446	t
	優良認定処理業者への処理委託量	273	t	285	t	612	t	1,370	t
	再生利用業者への処理委託量	205	t	129	t	381	t	279	t
	認定熱回収業者への処理委託量	32	t	132	t	242	t	824	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4	t	10	t	1	t	306	t
	・委託処理物の再生利用化の検討								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(7 年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず		木くず		金属くず		ガラスくず等	
	全処理委託量	93	t	45	t	14	t	16	t
	優良認定処理業者への処理委託量	93	t	45	t	14	t	16	t
	再生利用業者への処理委託量	0	t	45	t	11	t	1	t
	認定熱回収業者への処理委託量	93	t	0	t	3	t	4	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t	0	t	0	t
	(これまでに実施した取組)								
	・委託処理物の再生利用化の検討								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(7 年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸		廃アルカリ					
	全処理委託量	2	t	1	t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	2	t	1	t		t		t
	再生利用業者への処理委託量	0	t	0	t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2	t	1	t		t		t
	・委託処理物の再生利用化の検討								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(年度)実績】								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t
	(これまでに実施した取組)								

②計画	【目 標】									
	産業廃棄物の種類		汚泥(無機:焼却灰)		汚泥(有機:余剰)		汚泥(無機)		汚泥(有機)	
	全処理委託量		400	t	250	t	350	t	500	t
	優良認定処理業者への処理委託量		400	t	250	t	350	t	500	t
	再生利用業者への処理委託量		400	t	250	t	300	t	350	t
	認定熱回収業者への処理委託量		0	t	0	t	60	t	220	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	t	0	t	0	t	30	t
	(今後実施する予定の取組)									
	・委託処理物の再生利用化の検討。 ・優良認定処理業者の調査・検討。 ・認定熱回収処理業者の調査・検討。									
②計画	【目 標】									
	産業廃棄物の種類		廃油		廃プラスチック類		紙くず		木くず	
	全処理委託量		1,500	t	3,000	t	100	t	150	t
	優良認定処理業者への処理委託量		1,500	t	2,800	t	100	t	0	t
	再生利用業者への処理委託量		1,200	t	1,500	t	0	t	150	t
	認定熱回収業者への処理委託量		300	t	1,000	t	100	t	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	t	600	t	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取組)									
	・委託処理物の再生利用化の検討。 ・優良認定処理業者の調査・検討。 ・認定熱回収処理業者の調査・検討。									
※事務処理欄										

②計画	【目 標】									
	産業廃棄物の種類		金属くず		ガラスくず等		廃酸		廃アルカリ	
	全処理委託量		50	t	30	t	5	t	10	t
	優良認定処理業者への処理委託量		30	t	20	t	5	t	10	t
	再生利用業者への処理委託量		20	t	15	t	4	t	8	t
	認定熱回収業者への処理委託量		5	t	10	t	1	t	2	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		5	t	5	t	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理物の再生利用化の検討。 ・優良認定処理業者の調査・検討。 ・認定熱回収処理業者の調査・検討。									
②計画	【目 標】									
	産業廃棄物の種類		がれき類							
	全処理委託量		0	t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		0	t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		0	t		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		0	t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理物の再生利用化の検討。 ・優良認定処理業者の調査・検討。 ・認定熱回収処理業者の調査・検討。									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
実績：前年度（令和 7 年度）実績量
目標：今年度（令和 8 年度）目標量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
汚泥(無機:焼却灰)	32,000	32,000	0	0	0	0	31,705	31,600	0	0	295	400	295	400	295	400	0	0	0	0
汚泥(有機:余剰汚泥)	17,340	24,500	0	0	0	0	17,163	28,420	0	0	177	250	177	250	177	250	0	0	0	0
汚泥(無機)	273	350	0	0	0	0	0	0	0	0	273	350	273	350	205	300	32	60	4	0
汚泥(有機)	285	500	0	0	0	0	0	0	0	0	285	500	285	500	129	350	132	220	10	30
廃油	21,140	25,000	20,528	25,000	0	0	0	0	0	0	612	1,500	612	1,500	381	1,200	242	300	1	0
廃プラスチック類	1,446	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,446	3,000	1,370	2,800	279	1,500	824	1,000	306	600
紙くず	93	100	0	0	0	0	0	0	0	0	93	100	93	100	0	0	93	100	0	0
木くず	45	150	0	0	0	0	0	0	0	0	45	150	45	0	45	150	0	0	0	0
金属くず	14	50	0	0	0	0	0	0	0	0	14	50	14	30	11	20	3	5	0	5
ガラス・コンクリートくず等	16	30	0	0	0	0	0	0	0	0	16	30	16	20	1	15	4	10	0	5
廃酸	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	2	5	0	4	0	1	2	2
廃アルカリ	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	1	10	0	8	0	2	1	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	72,655	85,695	20,528	25,000	0	0	48,868	60,020	0	0	3,259	6,345	3,183	5,965	1,523	4,197	1,330	1,698	324	642

廃棄物処理フローシート

[普通産廃]

[令和7年度実績]

